

CLIPPEDIMAGE= JP02001273180A
PAT-NO: JP02001273180A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2001273180 A
TITLE: SYSTEM CAPABLE OF SETTING ENVIRONMENT FOR FILE
ACCESS BY INDIVIDUAL
USER

PUBN-DATE: October 5, 2001

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
OKAMOTO, TAKAO	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
SUZUKI EDUCATIONAL SOFTWARE CO LTD	N/A

APPL-NO: JP2000087415

APPL-DATE: March 27, 2000

INT-CL_(IPC): G06F012/00; G06F013/00 ; G06F015/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a system enabling each user to easily access an individual folder corresponding to each user and the folder of a group which the user belongs to without regard to a log in name for logging in OS or environment setting in OS.

SOLUTION: The system to be realized by using a server program and plural client programs to the network environment is provided with a folder storage part for an individual user, a group-shared folder storage part and a user information storage part on a server computer. The input of a user name different from the log in name of OS is received from the user having started the client program, and display for facilitating access to a folder for an individual user corresponding to a user name and/or the group-shared folder

of a group which
the user name belongs to is made to the user.

COPYRIGHT: (C) 2001, JPO

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-273180

(P2001-273180A)

(43)公開日 平成13年10月5日 (2001.10.5)

(51)Int.Cl'	識別記号	F I	マーク*(参考)
G 06 F 12/00	5 2 0	G 06 F 12/00	5 2 0 G 5 B 0 8 2
			5 2 0 P 5 B 0 8 5
13/00	5 0 0	13/00	5 0 0 A
15/00	3 3 0	15/00	3 3 0 B

審査請求 未請求 請求項の数10 OL (全 10 頁)

(21)出願番号 特願2000-87415(P2000-87415)

(22)出願日 平成12年3月27日 (2000.3.27)

(71)出願人 597067448

鈴木教育ソフト株式会社

静岡県浜松市都盛町157番地の1

(72)発明者 国本 尊雄

静岡県浜松市住吉1-8-15 パークサイドハイツC-3

(74)代理人 100088214

弁理士 生田 哲郎 (外2名)

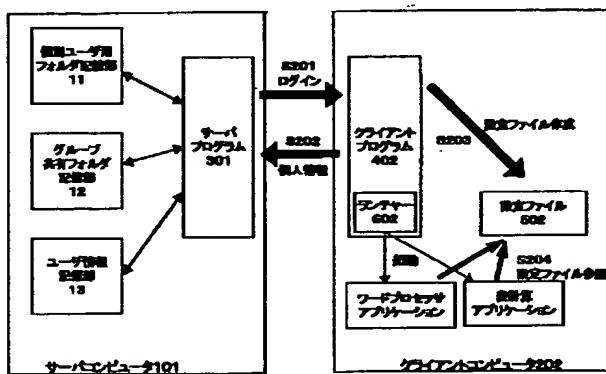
Fターム(参考) 5B082 AA11 AA12 CA07 EA11
5B085 AED2 BG07

(54)【発明の名称】 個別ユーザごとにファイルアクセスのための環境設定が可能なシステム

(57)【要約】

【目的】OSにログインするためのログインネームやOSにおける環境設定と無関係に、各ユーザは、それぞれのユーザに対応した個別フォルダやそのユーザが属するグループのフォルダを容易にアクセスし得るシステムを提供する。

【構成】ネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受け付けて、そのユーザに対し、ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び/又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、
サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、

前記クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受け付ける手段と、

前記ユーザに対し、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなす手段と、を備えたことを特徴とする。

【請求項2】サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、

前記サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、

前記サーバプログラムは、

(1) クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受け付ける、

(2) サーバコンピュータ上のユーザ情報記憶部に記憶された、前記ユーザネームに対応するバス情報を取得して、前記クライアントプログラムに送信し、

前記クライアントプログラムは、

(1) 前記バス情報をサーバプログラムから受信して、これを記憶するための設定ファイルを、前記クライアントコンピュータ上に作成し、

(2) 前記設定ファイルのバス情報に基づき、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とする。

【請求項3】前記個別ユーザ用フォルダ及び／又はグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおける、アプリケーションプログラム起動のためのランチャーにおいてなされるアイコン表示であることを特徴とする請求項1又は請求項2記載のシステム。

【請求項4】前記個別ユーザ用フォルダ及び／又はグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおいて起動されたアプリケーションプログラムにおいて、ファイル選択

とする請求項1又は請求項2記載のシステム。

【請求項5】前記システムが、教育用システムであることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか記載のシステム。

【請求項6】サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境において動作するシステムのため、サーバプログラムとクライアントプログラムであって、

前記サーバプログラムは、

(1) 前記クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受け付ける、

(2) サーバコンピュータ上のユーザ情報記憶部に記憶された、前記ユーザネームに対応するバス情報を取得して、前記クライアントプログラムに送信し、

前記クライアントプログラムは、

(1) 前記バス情報をサーバプログラムから受信して、これを記憶するための設定ファイルを、前記クライアントコンピュータ上に作成し、

20 (2) 前記設定ファイルのバス情報に基づき、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とするサーバプログラム及びクライアントプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項7】サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、

30 前記サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、

前記サーバプログラムは、

(1) クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受け付ける、

(2) サーバコンピュータ上のユーザ情報記憶部に記憶された、前記ユーザネームに対応するバス情報を取得して、前記クライアントプログラムに送信し、

前記クライアントプログラムは、

(1) 前記バス情報をサーバプログラムから受信して、これを記憶するための設定ファイルを、前記クライアントコンピュータ上に作成し、

(2) 前記設定ファイルのバス情報に基づき、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とするシステムに用いられるサーバプログラ

ユータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項8】前記個別ユーザ用フォルダ及びグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおける、アプリケーションプログラム起動のためのランチャーにおいてなされるアイコン表示であることを特徴とする請求項6又は請求項7記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項9】前記個別ユーザ用フォルダ及び／又はグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおいて起動されたアプリケーションプログラムにおいて、ファイル選択操作をなすためのアルダウンメニューであることを特徴とする請求項6又は請求項7記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【請求項10】前記システムが、教育用システムであることを特徴とする請求項6乃至請求項9のいずれか記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、個別ユーザ環境を設定可能なシステム及びプログラムに関し、より詳しくは、ネットワーク環境において、OSのユーザ環境設定に依存せず、ユーザが自己及び／又は自己の属するグループのフォルダに容易にアクセスしうる環境を提供するシステム及びプログラムに関する。

【0002】

【従来の技術】近年、例えば学校において、サーバと複数のクライアントからなるネットワークを構築し、複数のクライアント・コンピュータを設置したコンピュータ室において、複数の組の生徒が、入れ替わりクライアント・コンピュータを用いるという教育が、多くなされている。

【0003】この時、全てのユーザである生徒につき、それぞれをOSにおいてユーザ登録を行い、異なるログインネームを用いて識別を行った上で、個別の環境設定を行うことも理論的には可能である。しかしながら、学校等においては、専門の管理者をおくことができない等の事情があり、そこまでの管理運営を行うことは困難である。

【0004】そこで、コンピュータ室のネットワークコンピュータのセットアップの時には、生徒用のクライアント・コンピュータについては、それぞれクライアント・コンピュータAは「seito1」、クライアント・コンピュータBは「seito2」、といった架空の固定ユーザー名でログインするバッチプログラムを組んでおくという使用方法が多くの場合にとられる。この方法をとると、ある組の授業が始まった時、クライアント・コンピュータ

あるとしか認識されず、次の授業でクライアントコンピュータAの端末席に座った生徒も同様ということになり、せっかくOSとしてはユーザーごとの環境を設定できる機能を持ちながら、ユーザごとの環境設定をすることは、事実上できなかった。

【0005】そのため、従来は、各生徒が個別のフロッピー（登録商標）ディスクを持ち、当該フロッピーディスクに個人のデータを入れておくという管理が行われていた。しかしながら、最近ではデジタルカメラ、デジタル録音などの大量のデータ処理を必要とする場合が増えてきたため、データ量が増大して、フロッピーディスクの容量を容易に超えてしまうため、フロッピーディスクでの情報管理は不可能になってきている。また、このような方法においては、個人が自らのデータを保存することはできても、共同学習等の、グループで作業した結果を共有することはできなかった。

【0006】また、別な解決として、ファイルサーバ上に、各生徒のディレクトリと、様々なグループのディレクトリを作成すれば、各生徒の個別のデータと、グループ用のデータを保存しておくことはできる。しかし、このような方式を採用すると、生徒数の多い学校等においては、そのディレクトリの数だけでも膨大なものとなる。そして、これを整理するため階層化すれば、階層が深くなり、各生徒が自分のディレクトリと自分が属するグループのディレクトリのパスを正しく記憶しておくことが困難となる。すなわち、各生徒がそれらディレクトリを正しくアクセスしうるよう指導するだけでもたいへんな労力を要し、また、極めて混乱が生じやすいことになる。

【0007】

【課題を解決するための手段】以上のような問題点を解決するために、本発明においては、ファイルサーバを用いることにより、個人データをサーバ上で管理することとした上で、サーバ・アプリケーションでユーザーごとのパス情報を管理することにより、OSのユーザー管理が使えない状態でも、アプリケーションレベルで簡単に目的のパスへアクセスすることを可能とするシステム及びプログラムを提供する。

【0008】請求項1記載の発明は、サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、前記クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受け付ける手段と、前記ユーザに対し、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォル

と、を備えたことを特徴とする。

【0009】この発明のシステムは、ネットワークに接続されたクライアント・コンピュータを、多くの人が入れ代わり使用するような場合に、それぞれのユーザにつき、OSにログインするためのログインネームとは無関係に、また、そのOSにおけるユーザごとの環境設定をすることなく、それぞれのユーザが自己の個人ファイルや自己が属するグループのファイルを容易にアクセスし得るような環境を提供するものである。

【0010】これは、OSによるアクセス権限の管理と表面上は似ているが、あくまでも、個人のファイルや、その属するグループのファイルに容易にアクセスしうるよう、パスの管理をするものである。したがって、ファイルのアクセス権限を制限することも可能はあるが、それを目的とするものではない。

【0011】本発明のシステムにおいては、各ユーザは、当該サーバプログラムに、アプリケーションプログラムから、OSのログインネームとは別のユーザネームを用いてログインすることにより、ユーザが自己の個別ユーザ用フォルダ及び／又は自己が所属するグループのグループ共有フォルダを使用する場面において、それらフォルダにアクセスするための表示がなされる。このため、ユーザは自らのファイルのあるフォルダと、自らが属するグループのフォルダを、全てのパスを入力することなく、容易にアクセスすることができる。なお、ユーザネームは、OSのログインネームとは無関係であるが、同じ名前が用いられてもよいことはもちろんである。

【0012】請求項2記載の発明は、サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、前記サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、前記サーバプログラムは、(1)クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受付け、(2)サーバコンピュータ上のユーザ情報記憶部に記憶された、前記ユーザネームに対応するバス情報を取得して、前記クライアントプログラムに送信し、前記クライアントプログラムは、(1)前記バス情報をサーバプログラムから受信して、これを記憶するための設定ファイルを、前記クライアントコンピュータ上に作成し、(2)前記設定ファイルのバス情報に基づき、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とする。

【0013】各ユーザのバス情報(ファイルの位置を表

ライアントコンピュータにおいて設定ファイルとして保存される。そして、そのクライアントプログラムが起動している間、そのクライアントプログラムにより、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／又は当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダにつき、当該ユーザによる容易なアクセスを可能とするために用いられる。

【0014】請求項3記載の発明は、前記個別ユーザ用フォルダ及び／又はグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおける、アプリケーションプログラム起動のためのランチャーにおいてなされるアイコン表示であることを特徴とする請求項1又は請求項2記載のシステムである。

【0015】クライアントプログラムには、アプリケーションプログラムを起動するためのランチャーが存し、そのランチャー画面上に、起動されるべきアプリケーションプログラムのアイコンと共に、前記個別ユーザ用フォルダ及びグループ共有フォルダがアイコンにより表示される。ユーザは、これをクリックすることにより、個別ユーザ用フォルダ及びグループ共有フォルダに容易にアクセスすることができる。

【0016】請求項4記載の発明は、前記個別ユーザ用フォルダ及び／又はグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおいて起動されたアプリケーションプログラムにおいて、ファイル選択操作をなすためのアルダウンメニューであることを特徴とする請求項1又は請求項2記載のシステム。

【0017】ファイル選択操作をなす場面において、そのユーザに対応する個別ユーザ用フォルダ、グループ共有フォルダの名称が自動的にアルダウンメニューにより表示され、選択可能とされる。

【0018】請求項5記載の発明は、前記システムが、教育用システムであることを特徴とする請求項1乃至請求項4のいずれか記載のシステムである。

【0019】ここにいう、教育とは、小学校、中学校、高等学校、大学、専門学校のような教育機関、会社等におけるコンピュータ研修の場合等を含む。すなわち、前記のような、ネットワークに接続されたクライアント・コンピュータを、多くの人が入れ代わり使用するような場合は、学校等におけるコンピュータ教育の場面で典型的に現れる。学校等におけるコンピュータ教育の場面では、各自がパーソナル・コンピュータ等を所有していることを前提として、教育を行うことは難しく、したがって、コンピュータ室等を設置して、そこにネットワークで接続された複数台のコンピュータを用意して、コンピュータ教育の時間に、各組がこれを順に使用するという形態が多くとられるからである。

タと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境において動作するシステムのため、サーバプログラムとクライアントプログラムであって、前記サーバプログラムは、(1)前記クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受付け、(2)サーバコンピュータ上のユーザ情報記憶部に記憶された、前記ユーザネームに対応するバス情報を取得して、前記クライアントプログラムに送信し、前記クライアントプログラムは、

(1)前記バス情報をサーバプログラムから受信して、これを記憶するための設定ファイルを、前記クライアントコンピュータ上に作成し、(2)前記設定ファイルのバス情報に基づき、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／または当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とするサーバプログラム及びクライアントプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0021】請求項7記載の発明は、サーバコンピュータと複数のクライアントコンピュータからなるネットワーク環境においてサーバプログラムと複数のクライアントプログラムを用いて実現されるシステムであって、前記サーバコンピュータ上に、個別ユーザ用フォルダ記憶部と、グループ共有フォルダ記憶部とユーザ情報記憶部とを備え、前記サーバプログラムは、(1)クライアントプログラムを起動したユーザから、OSのログインネームとは別のユーザネームの入力を受付け、(2)サーバコンピュータ上のユーザ情報記憶部に記憶された、前記ユーザネームに対応するバス情報を取得して、前記クライアントプログラムに送信し、前記クライアントプログラムは、(1)前記バス情報をサーバプログラムから受信して、これを記憶するための設定ファイルを、前記クライアントコンピュータ上に作成し、(2)前記設定ファイルのバス情報に基づき、前記ユーザネームに対応する個別ユーザ用フォルダ及び／または当該ユーザネームが所属するグループのグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示をなすことを特徴とするシステムに用いられるサーバプログラム及び／又はクライアントプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0022】請求項8記載の発明は、前記個別ユーザ用フォルダ及びグループ共有フォルダの容易なアクセスを可能とするための表示が、前記クライアントプログラムにおける、アプリケーションプログラム起動のためのランチャーにおいてなされるアイコン表示であることを特徴とする請求項6又は請求項7記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0023】請求項9記載の発明は、前記個別ユーザ用フォルダ及び／又はグループ共有フォルダの容易なア

グラムにおいて起動されたアプリケーションプログラムにおいて、ファイル選択操作をなすためのアルダウンメニューであることを特徴とする請求項6又は請求項7記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0024】請求項10記載の発明は、前記システムが、教育用システムであることを特徴とする請求項6乃至請求項9のいずれか記載のプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0025】これら、請求項6乃至請求項10の発明は、請求項1乃至請求項5のシステムを実現するために用いられるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体である。

【0026】

【発明の実施の形態】図1は、学校のコンピュータ室における本発明のシステムの概要を示すものである。コンピュータ室内に、サーバコンピュータ101と、複数のクライアントコンピュータ201～240が、ネットワーク(LAN等)を介して接続され、設置されている。

20 20各クライアントコンピュータは、サーバコンピュータ101とネットワーク接続され、それぞれのOSは起動された状態にある。

【0027】サーバコンピュータ101上では、サーバプログラム301が実行され、各クライアントコンピュータ201～240上では、クライアントプログラム401～440が実行される。

【0028】サーバコンピュータ101上には、個別ユーザ用フォルダ記憶部11、グループ共有フォルダ記憶部12、ユーザ情報記憶部13が存する。具体的には、これら情報は、ハードディスクに記憶されている。

【0029】また、各クライアントコンピュータにおいては、各ユーザが使用するたびに、それぞれクライアントプログラムが実行され、それぞれのクライアントプログラムは、起動時に、そのクライアントコンピュータ上に後述する設定ファイルを作成する。

【0030】それぞれのクライアントコンピュータは、授業のたびに異なる生徒が使用することになり、また、同じ組の授業においても、毎回同じ生徒が同じクライアントコンピュータを使用するとは限らない。

40 【0031】本件発明のサーバプログラム301と各クライアントプログラムは、これらOS上において、アプリケーションプログラムとして実行される。なお、後述するように、前記各クライアントプログラムにおいて、クライアントプログラム用のアプリケーションプログラム(ワードプロセッサ、表計算ソフトウェア等)がユーザにより実行されることになるが、このクライアントプログラム用のアプリケーションプログラムのことを、以後、「本件アプリケーション」ということとする。

【0032】図2に、ユーザがクライアントプログラム

ーである生徒Aのユーザネームが「すずき」であり、クラスにおいて「酸性雨グループ」に属し、今回の授業でクライアントコンピュータ402を使用する場合を想定して説明する。

【0033】まず、生徒Aがクライアントコンピュータ202上でクライアントプログラム402を起動して、サーバプログラム301にログインする(S201)。この時、図3に示すユーザネーム入力画面が表示される。生徒Aは、図3入力画面において、そのユーザネーム「すずき」を入力する。このユーザネームは、クライアントコンピュータ202のOSのユーザIDとは無関係の、本発明のシステム用の生徒Aのユーザネームである。サーバプログラム301は、前記生徒Aによるユーザネームの入力により、サーバコンピュータ101上にあるユーザ情報記憶部13内に記憶された「すずき」というユーザの個別ユーザ用フォルダ（「すずきフォルダ」と、その属するグループの共有フォルダ（「酸性雨グループ」）のバス情報を取り出し、クライアントプログラム402に対し、これらを送信する。

【0034】クライアントプログラム402は、このバス情報を受け取り、そのクライアントコンピュータ202上の記憶領域に、前記バス情報を含む設定ファイル502を作成する。当該設定ファイルの内容を図4に示す。ここにおいて、[POCKET] (Pocket 1~99)と記載されているのが、前記バス情報である。ユーザ「すずき」は、グループとしては「酸性雨グループ」にのみ属するので、そのバス情報は、「すずき」の個別ユーザ用フォルダと、「酸性雨グループ」のフォルダのバス情報のふたつとなる(図4)。

【0035】その後、クライアントプログラム402は、クライアントコンピュータ202の画面上で、本件アプリケーションを起動するためのランチャー画面を表示する。図5にランチャー画面の例を示す。当該ランチャー画面において、ワードプロセッサ、表計算ソフトウェア等の本件アプリケーションが起動される。このランチャー画面において、前記設定ファイルのバス情報を用いて、生徒「すずき」の個別ユーザ用フォルダである「すずきフォルダ」と、「すずき」の属するグループの共有フォルダである「酸性雨グループ」フォルダのショートカットのアイコンが自動的に表示される(図5)。生徒Aは、このショートカットのアイコンをクリックすることにより、サーバコンピュータ101の個別ユーザ用フォルダ記憶部11及びグループ共有フォルダ記憶部12にある個別ユーザ用フォルダ及びグループの共有フォルダに容易にアクセスすることができる。

【0036】次に、前記ランチャー画面から、本件アプリケーションを起動する場合について述べる。生徒Aは、例えばワードプロセッサを起動する場合、ランチャー画面のワードプロセッサを示すアイコンをクリックす

時、例えばファイルを開く時、ダイアログ画面(図6)においてファイルの場所の選択をする際に、生徒Aは、サーバコンピュータ101に記憶されている、「すずき」の個別ユーザ用フォルダである「すずきフォルダ」と、「すずき」の属するグループの共有フォルダである「酸性雨グループ」フォルダを容易にアクセスすることができる。すなわち、前記クライアントプログラム402により、前記設定ファイル502のバス情報を用いて、前記ダイアログ画面に、「ポケット」という項目が表示される。そして、ここにおいて、「すずきフォルダ」と「酸性雨グループ」のフォルダが、ブルダウンメニューにより選択可能な状態とされている(図6)。したがって、生徒Aは、自己の個別ユーザ用フォルダや、グループ共有フォルダを選択するために、面倒なステップを踏む必要がなく、そもそも、その位置(ディレクトリ)を記憶する必要がない。

【0037】なお、この生徒Aは、その授業が終われば前記サーバプログラム301からログアウトするので、その次の授業で、このクライアントコンピュータ202を用いる生徒は、新たにまた、クライアントプログラムを起動して、自己のユーザネームを入力し、自己のファイルにアクセスすることになる。このシステムの管理者は、OSのユーザ設定やユーザ環境設定を管理する必要がなく、次に説明するような本システムの容易なユーザ設定をするのみで、各ユーザは自己及び自己の属するグループのフォルダに容易にアクセスすることができる。

【0038】次に、以上の操作に先だって行われる、サーバコンピュータ101におけるユーザ管理の手順について、図7のフローチャートを用いて説明する。まず、サーバプログラム201を起動させたうえで、ユーザ管理プログラムを起動させる(S701)。まず、学校名、学年名、学級名を登録する(S702)。次に、生徒名簿を作成する(S702、図8)。その後、ユーザごとの、個別ユーザ用フォルダのバスを登録する(S703、図8)。さらに、ユーザの属するグループを登録し(S705、図9)、そのバスを作成する(S706、図9)。ユーザ管理プログラムによる以上のユーザ管理の結果は、サーバプログラム201との通信により、サーバコンピュータ上に保存される。

【0039】

【発明の効果】以上により、OSにログインするためのログインネームやOSにおける環境設定と無関係に、各ユーザは、それぞれのユーザに対応した個別フォルダ(ファイル)やそのユーザが属するグループのフォルダ(ファイル)を容易にアクセスし得る。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の全体構成を示す図である。

【図2】本発明の動作概要を示す図である。

【図3】ログインの際に表示される画面である。

11

【図5】クライアントプログラムのランチャーの表示画面である。

【図6】アルダウンメニューの表示例である。

【図7】ユーザ管理の手順を示すフローチャートである。

【図8】ユーザ管理プログラムにおける個人登録画面である。

【図9】ユーザ管理プログラムにおけるグループ登録画面である。

【符号の説明】

12

11 個別ユーザ用フォルダ記憶部

12 グループ共有フォルダ記憶部

13 ユーザ情報記憶部

101 サーバコンピュータ

201~240 クライアントコンピュータ

301 サーバプログラム

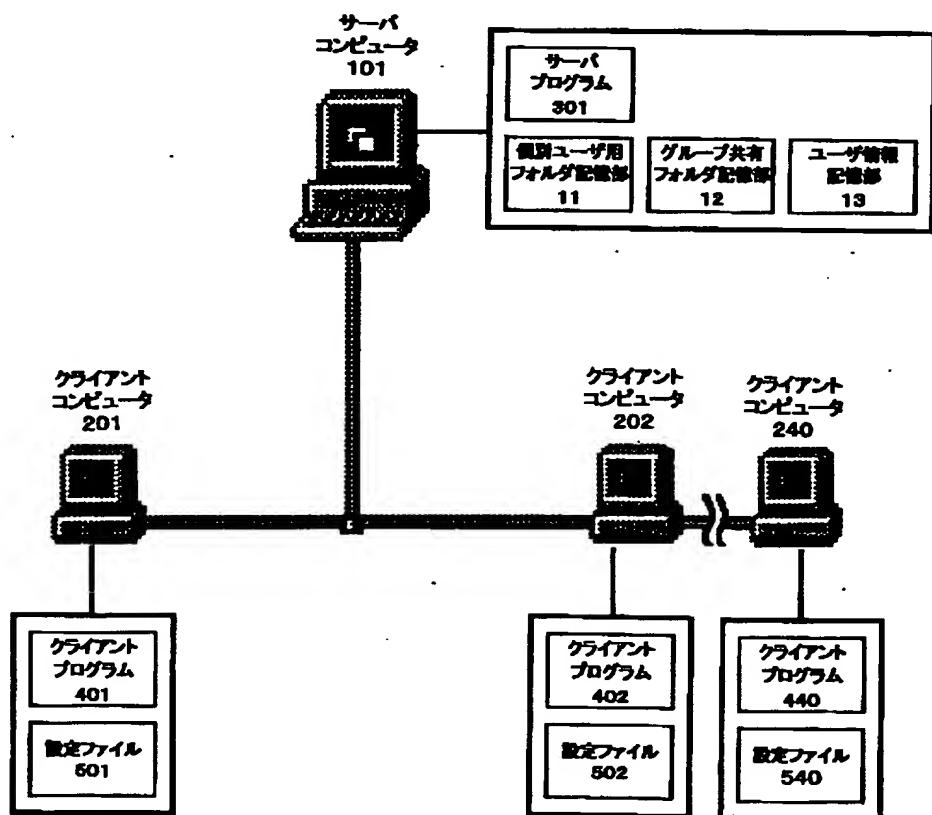
401~440 クライアントプログラム

501~540 設定ファイル

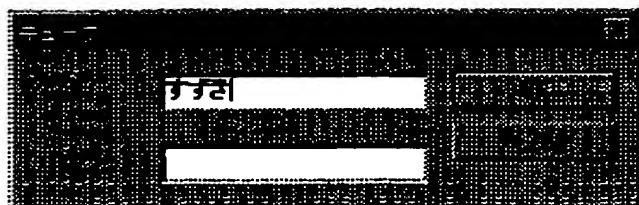
601~640 ランチャー

10

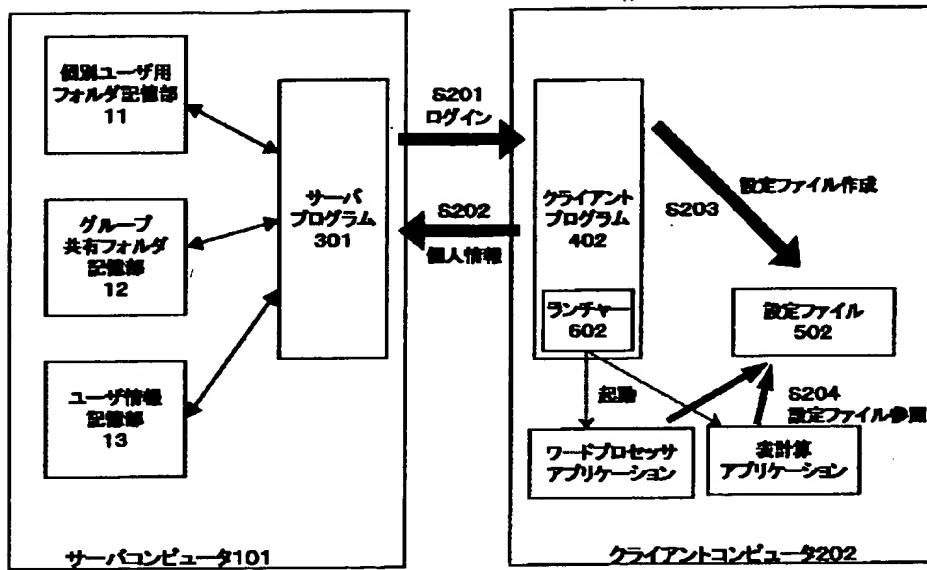
【図1】



【図3】



【図2】

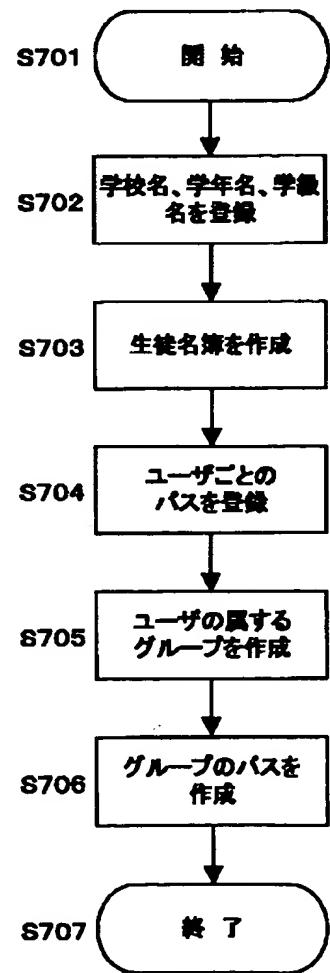


【図4】

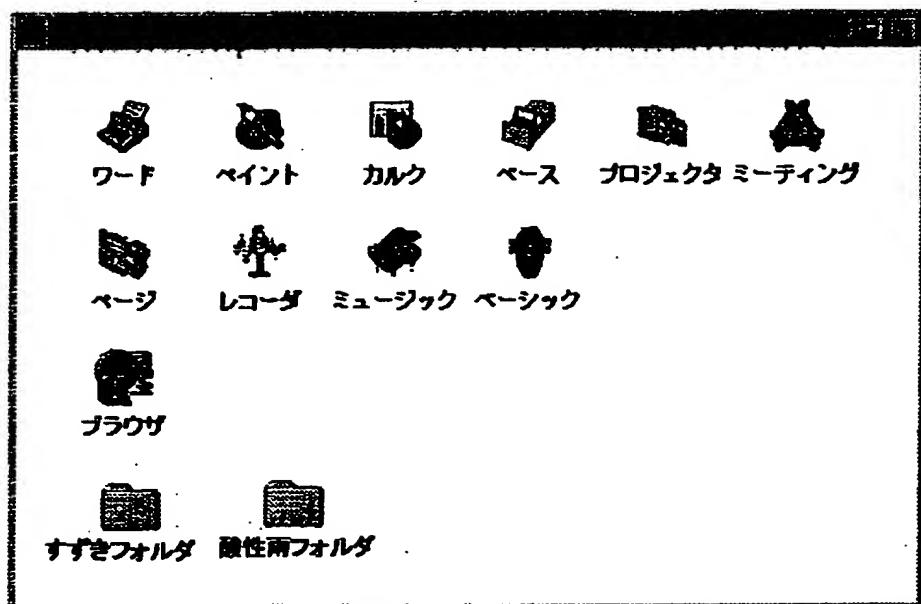
[USER]
IpAddress=192.168.10.130
Name=すずき
UserID=2
ParentID=31
Menu=0
Iconsize=0
School=1
Grade=1

[POCKET]
Pocket1=c:¥3年¥4組¥個人¥すずきフォルダ
Pocket2=c:¥3年¥4組¥グループ¥酸性兩グループ
•
•
•
Pocket97=
Pocket98=
Pocket99=

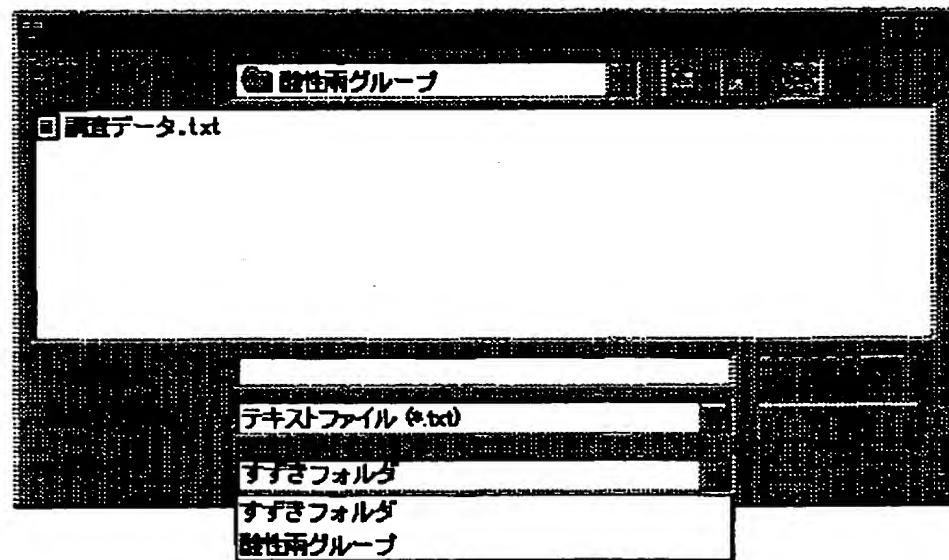
【図7】



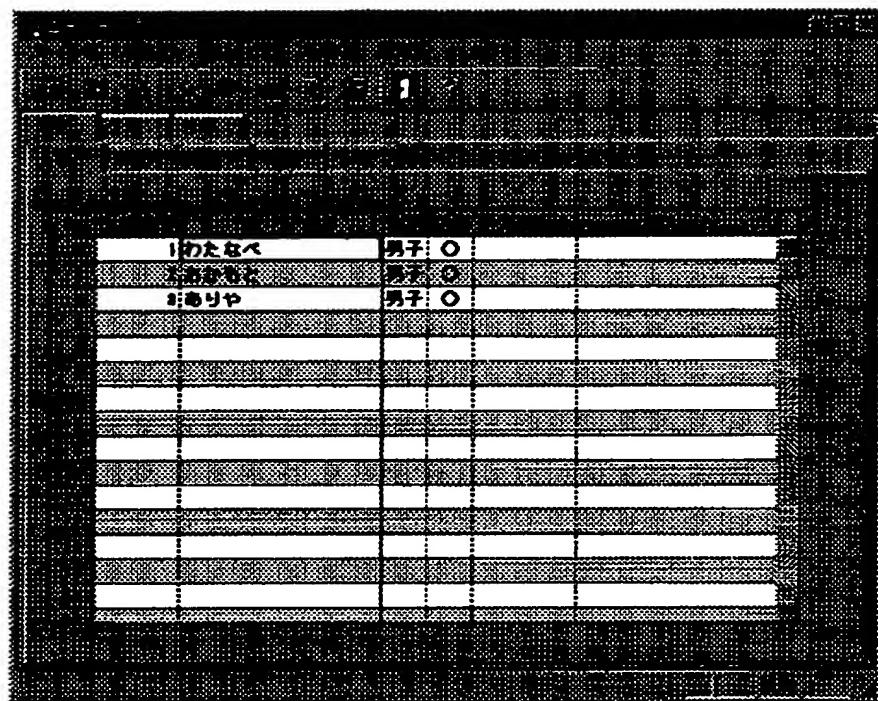
【図5】



【図6】



【図8】



【図9】

